

地域密着型サービス運営推進会議の記録

会議名称：平成25年度 第1回運営推進会議

事業所名：地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷

サービス種類：地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

会議開催日時：平成25年5月14日（火） 15時00分～16時10分

会議開催場所：地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3F研修室

《運営推進会議出席者》

利用者の家族	0名	地域包括支援センター職員	1名
地域住民の代表	3名	事業者	9名

《議題》

- 運営推進会議構成員の紹介
- 平成24年 7月～平成25年5月運営状況の報告
- 平成24年 7月～平成25年5月活動状況の報告
- ディスカッション

《運営状況の報告》

- 利用者概要
- 入居申し込み状況
- 稼働状況
- 入職者・退職者の状況
- 事故発生状況
- 職員育成について
- 在宅復帰に向けて
- 地域とのつながり

《活動状況の報告》

- 平成24年 7月～平成25年5月 活動内容等の報告

《運営推進会議による評価》

- 事故件数について、どこまでを事故として扱っているのか？（地域住民の代表）
→ 軽微なものから全て報告書として上げている、実際には受診に至るような事故は10件程となっています。次回より表記の仕方を工夫します。

- 入居の順番はどのように決めているのか？（地域住民の代表）

→ 県や市の指導を参考に緊急性の高い方が上位に来るように点数付をさせて頂いています。その点数を基2カ月に1度入居判定委員会を開催し順位が決定します。空床が出来た時点で上位の方から、お声掛けをさせて頂いています。

- 在宅復帰に向けて、地域の協力とは具体的には？（地域住民の代表）

→ 例えば、車イスの方が地域にできれば色々な不便さがまだあります、歩道に自転車がはみ出して停めてあったりとか、スーパーに買い物に行けば高い所に陳列された品物を取るのも一苦勞といった状況です、行政の協力も必要ですが、地域の方1人1人の協力が高齢者の暮らしやすい街づくりには不可欠だと思います。

- 各ユニットごとに入居する方のグループ分け等をしているのか？

→ していません、空いた居室に次の入居者が入ります。

《要望、助言、意見等》

○活動報告について、言葉の使い方を配慮して欲しい、例) 食べれる→(本来は)食べられる 普通に使っている言葉が高齢者にとっては「？」となる場合がある、若い方には特にその傾向があるのでないかと思います (地域住民の代表)

《資料等》

- 運営報告 (パワーポイント資料)
- 平成24年 7月～ 平成25年5月度活動報告 (パワーポイント資料)

《次回の会議》

- 次回議題
 - ・平成25年 5月～ 7月の活動報告
 - ・運営等についての意見交換
- 次回開催月日(予) 平成 25 年 7 月 16 日(火) 15 時～
- 次回開催場所 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3 F 研修室